

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年五月度 入選句 (投稿総数三百七十四句・小中学投句数二十七句)

特選

散ってなお川面の枝に寄るさくら 大垣市 平田 ひなの(中三)

「桜」は日本の国花で日本人に特別に愛されてきた花です。この句は水門川の辺りで詠まれた句でしょうか。見事に咲いていた桜もあつと言う間に散ってしまいます。作者は、散ってもなお川面の枝に寄る花びらに焦点を当てました。もう一度花を咲かせてくれました。

大むかでママにふまれて春おわる 大垣市 内山 隼(小三)

むかでは石垣、木の根、床下などの湿気のある場所にすんでいます。百足虫とも書かれ、見た目も悪く、さされるとかなりの痛みを感じます。殺虫剤でもなかなか死にません。お母さんは勇気を出して、足で踏んづけたんですね。お母さんの必死な様子が伝わってきます。むかでは夏の季語で、下五に春おわるとあるので季重りになりますが迫力が伝わり、おもしろい句になりました。

くいせがわめだかの学校登校日 大垣市 伊藤 晟(小二)

めだかは目が大きく飛び出しているのでこの名があります。
くいせ川で、よくめだかを見つけましたね。めだかは群れでおよんでいるので、歌にもあるようにまるで学校のようなです。みなさんは今年はコロナの影響でなかなか登校できずとても残念ですね。早くもどおり学校に行けるようになるといいですね。

秀逸

バツトふるからぶりしたよなつのかぜ 大垣市 内山 友梨(小二)

こうえんでぶらんこたのしむ春のひる 大垣市 千足 紅葉(小三)

おはなみをことしはいえでたのしもう 揖斐郡池田町 濱井 乃香(小四)

めだかとりおよぐのはやいたいへんだ 大垣市 千足 りょう(小四)

母の日に内しよで作るおくりもの 大垣市 炭竈 玲亜(小六)

ころもがえきよねんのふくはいらない 大垣市 赤しお ひろむ(小二)

入選

ランドセルあたらしいままはるおわり 大垣市 内山 友梨(小二)

花は葉にはんそでたんパンはやきがえ 大垣市 伊藤 晟(小二)

去年まで桜を見てた水門川 大垣市 炭竈 玲亜(小六)

校庭でみんなの笑顔待つ桜 大垣市 平田 ひなの(中三)

選者吟

薫風や渡り廊下で声かけて よちゑ